



第51号 2025. 8月

発行人：鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 住 真介 編集責任者：担当副会長 仲佐 大志 制作・編集：第51期発信・地域の力委員会

飛 雄



鳥取県西部中小企業青年中央会
第51期会長 住 真介

【所属企業・役職】 住法律事務所
代表弁護士

【入会年度】 H25年6月 (H24年度)

【中央会経歴】

H27年度 副委員長

R01年度 委員長

R02年度 県出向理事

R03年度 専務事兼会計担当理事

R05年度 副会長

R06年度 監事



ご挨拶

このたび、鳥取県西部中小企業青年中央会 第51期会長を拝命いたしました住 真介です。歴史と実績ある当会の舵取りを担うにあたり、大きな責任を感じると同時に、新たな歩みを進められることに、心からの喜びと使命感を抱いております。

昨年度、当会は創立50周年という大きな節目を迎えました。これまで地域と向き合い、仲間とともに汗を流してこられたOBの皆様の積み重ねによって、今の私たちがあります。改めてその歩みに敬意を表し、感謝の気持ちを胸に、新たな一歩を踏み出したいと思っております。

現在、物価の高騰、人口減少、地域間格差の拡大など、私たち中小企業を取り巻く環境はかつてないほど厳しさを増しています。そのような中だからこそ、時代の変化に柔軟に対応しながらも、ぶれることのない軸を持って行動できる青年経済人の存在が、地域社会にとって不可欠であると強く感じています。

第51期のスローガンは「英雄」です。「西部青年中央会は青

年経済団体の雄としての真の王道である」とのOB会員のお言葉があります。英雄とは、まさに王道を歩む者、作る者を表しています。誇りを持ち、いかなる困難にも真摯に立ち向かい、常に向上心を忘れず努力を重ねる者。仲間を大切にし、地域や社会に対する責任を自覚し、謙虚に自己の成長を求め続ける姿勢を持つ者であると考えています。誰かのために汗をかき、声をかけ、共に学び合うその積み重ねが、人を育て、組織を強くしていくと信じています。

そして活動テーマには「全身全霊、限界突破」を掲げました。一人では踏み出せなかった一歩も、仲間となら乗り越えられる。そんな経験を、例会や委員会活動、そしてさまざまな交流の場を通じて積み重ねていきたいと考えています。

結びとなりますが、平素より当会にご理解とご協力を賜っております地域の皆様、関係諸団体の皆様、そして尊い歴史を築いてくださったOBの皆様に、心より御礼申し上げます。第51期も引き続き、ご指導とご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

委員長・副会長ごあいさつ

総務委員会

委員長 長谷川 恵一

HASEGAWAテクニカ㈱ 取締役専務

第51期総務委員会の委員長を務めさせていただく長谷川恵一です。

当委員会では「うれしい、たのしい、嫌いじゃない」を年間のテーマとしました。中央会の学びもまずは参加することから。委員会メンバーに積極的に会の活動に出席していただきたいと考えています。しかし、活動に参加することはかりが忙しく、「中央会を嫌い」になって欲しくはありません。「嫌いじゃない」くらのモチベーションで、最後には「好きかもしれない」くらの気持ちが持てるような委員会をメンバーと共に学びながら作り上げていきたいと思ひます。微力ではありますが、会のため精一杯務めさせていただきます。一年間どうぞよろしくお願いいたひします。

総務委員会

副会長 安藤 睦男

山陰フェンス工業㈱ 代表取締役

第51期副会長を拝命致しました安藤睦男と申します。

平素は関係各位、OBの皆様には当会の活動にご支援、ご協力を賜り感謝申し上げます。初めての大役を仰せつかり、大変光栄に思っております。

51期住会長が掲げられたスローガン「英雄」を念頭に、長谷川委員長、松井副委員長が率いる総務委員会メンバーと共に切磋琢磨しながら、自己の成長に繋がるよう勉強させていただきます。

これまでOBの皆様が築き上げられた『50年』を大切に考え、新たな『50年』へのスタートを住会長を筆頭に会員一丸となって取り組んでいけるようサポートしていきたいと思ひます。微力ではございますが、精一杯活動してまいりますので、一年間何卒よろしくお願い申し上げます。

発信・地域の力委員会

委員長 川口 慎司

㈱葬仙 経理部

第51期発信・地域の力委員会委員長を務めます川口慎司と申します。

当委員会は広報誌ハンサム・雄飛を中心に地域の力を発信していきます。広報活動テーマを「I Scream〜シビックプライドの発信〜」として地域に誇りを持ち、地域を発展させる為に貢献する自尊心を掲げインナープロモーションを行います。

そして委員会活動テーマは「After Grow〜未来へ羽ばたく道しるべ〜」として個人活動の目的強化を行い、後進の育成に繋がる成長をしてホスピタリティマインドが向上出来る委員会にしていく所存でございます。住会長の掲げられたスローガン「英雄」に沿った活動を行い全身全霊活動に励みたいと思ひますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

発信・地域の力委員会

副会長 仲佐 大志

㈱あしがる 代表取締役

第50期に引き続き、第51期副会長を拝命致しました仲佐大志と申します。

第51期住会長が掲げられた『英雄』のスローガンのもと川口委員長、石井副委員長率いる発信・地域の力委員会を担当させていただきます事となりました。

発信・地域の力委員会はいわゆる広報の委員会となりますが、地域の力の名の通りこの鳥取県西部地区の魅力を発信し、中央会並びに地域の発展に寄与できる活動をしたいと考えております。広報として皆様には何かとお願いさせていただく事があるかと思ひます。精一杯努めて参りますので1年間どうぞよろしくお願い致します。

ビジネス経営委員会

委員長 柳谷 雄大

㈱柳谷ファーム 代表取締役

第51期ビジネス経営委員会委員長を拝命いたしました柳谷雄大と申します。

今期の当委員会テーマ「勇往邁進」といたしました。

どのような困難や壁にぶつかっても、恐れずに前進する一年にしたいと考えております。目標を見失わず、日々の努力を積み重ねながら、一歩ずつ着実に進んでまいります。

時には迷いや不安もあるかと思ひますが、信念を持って行動し、自分の成長と周囲への貢献を両立させていきたいです。

変化の多い時代だからこそ、芯のある姿勢で物事に取り組み、後悔のない一年にしたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

ビジネス経営委員会

副会長 小坂 泰彦

㈱はなや 取締役

第51期副会長を拝命いたしました小坂泰彦と申します。

当会も創立から50年が過ぎ、今期はこれからの50年に向けてその第一歩となる重要な年だと認識しております。住会長の掲げられたスローガン「英雄」を胸に、在籍いただいている会員それぞれが英雄になれるよう、そして中央会が青年経済団体としての王道として今後も発展していくことができるよう、微力ではありますが尽力して参る所存です。

担当副会長としては柳谷委員長率いるビジネス経営委員会を担当させていただきます。中央会にとってビジネス系の委員会は創立当初よりある中央会の根幹となる委員会です。これまで中央会から頂いた学びを次の世代へと受け継ぎ、委員会を実りあるものとなるよう精一杯サポートしていきたいと思ひます。一年間どうぞよろしくお願い致します。

政治行政委員会

委員長 児玉 誠博

㈱イーサポート 代表取締役

第51期 政治行政委員会の委員長を拝命しました児玉誠博と申します。

歴史ある委員会の担当をさせていただく事となり、緊張と楽しみな気持ちが混在しております。

当委員会では、委員会テーマを「百花斉放」〜共に主役を目指す〜としました。

若手を中心とし意欲的に活動を行い青年中央会内は勿論の事、それぞれのステージにて主役となる人材を目指します。また、一年間の活動を通じ委員会メンバーと共に成長し「共に花開く」事を願ひ今期のテーマとしました。

委員会活動としては、社会的、地域的な政治行政の諸問題について調査研究を行ってまいります。

特に我々の暮らす西部地区にスポットを当て地方の未来について考えていきたいと思ひます。一年間どうぞよろしくお願いいたひします。

政治行政委員会

副会長 中西 悠介

㈱LABO 工事部部長

第51期副会長を拝命しました中西悠介と申します。

当会には住会長が掲げられたスローガン「英雄」を基に第51期を迎え、新たな半世紀の第一歩目を歩み出しました。

その様な年度に当会の常任委員会ともいえる、政治行政委員会の担当副会長という大役を任せて頂き、大変光栄に思っております。

住会長が与えてくださった委員会活動指針を担当の児玉委員長・田中副委員長が全身全霊、限界突破で進めるようにサポートして参ります。

私自身が卒会年度となりますので一つ一つの事業を噛み締めて過ごしたいと思ひます。一年間どうぞよろしくお願いいたひします。

直前会長・専務理事・参与・特命担当理事 ごあいさつ



直前会長

永井 拓未

㈱クラム 代表取締役

直前会長を拝命いたしました永井拓未です。私にとって今期が、この鳥取県西部中小企業青年中央会で活動する最後の任期となります。これまで温かく支えてくださった皆様への感謝で胸がいっぱいです。本当にありがとうございます。

直前会長として、執行部が掲げる事業を全力で支え、円滑な運営を後押しする所存です。諸先輩方が築き上げられた歴史を胸に、そして未来へ繋ぐ架け橋となるべく、青年中央会のさらなる発展に尽力いたします。

卒会まで、皆様と共に有意義な時間を過ごし、悔いなく活動を全うしたいと存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。



専務理事兼会計担当理事

徳中 太慈

㈱大連 代表取締役

51期専務理事兼会計担当理事を拝命しました徳中です。

住会長の掲げられたスローガン『英雄』のもと、OB会員の皆様、諸先輩方が紡いでこられた歴史を重んじて大切にしながらも若手会員の意見も取り入れより一層素晴らしい会へと進んでいる

当会の専務理事として中央会の王道を歩み一年間しっかりと役割を果たしていきたいと思っています。100年に向けた新たな一歩となる今期を仲間と共に、中央会、仕事、家庭、全てにおいて全力で取り組んでいきます。一年間どうぞよろしくお願い申し上げます。



参与

中村 友紀

㈱サンイントウエイ 代表取締役社長

第51期参与を拝命しました中村友紀です。

参与は初めての役職ですが、会員の皆様の良き相談相手となり、次世代を担う方々の成長を支援する役割と捉えています。

住会長が掲げられた「英雄」の理念を全員で体現できるよう、与えられた責務に誠心誠意取り組んでまいります。



特命担当理事

大江 史紀

㈱島津組 部長

このたび特命担当理事を拝命いたしました、大江です。私に与えられた特命の一つとして、まず「会員拡大」に取り組んでまいります。

「仲間が増える＝会がもっと面白くなる」という想いを胸に、中央会の魅力をより多くの方に知っていただけるよう活動してまいります。業種や立場を越えて集うこの会の価値は、出会いや学び、地域とのつながりにあふれており、その輪が広がることで、会そのものの活力も高まると感じています。

今期は、ビジネス交流会の開催や新たな情報発信など、外部との接点づくりを意識した企画も展開してまいります。

現役・OB会員の皆さま、そして所属企業の皆さまにも、引き続き温かいご協力を賜れますと幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

県出向役員ごあいさつ



県出向理事

新井 翔太

サンイン・ワズ㈱ 営業部 部長

県の役員としての参加は今回が初めてとなりますが、皆様のご承認をいただき、西部中央会らしさを存分に発揮できるよう、1年間精一杯努めてまいります。何卒よろしくお願い申し上げます。3月に開催予定の「ビジネス教育事業」を担当させていただくこととなりました。東・中・西部の垣根を越え、全会員の皆様が何らかの形で関わりを持ち、楽しくご参加いただけるような、大規模な企画を現在構想中です。企画の実施にあたっては、皆様にご協力をお願いする場面もあるかと存じます。その際には何卒ご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



県出向理事

山根 壮

㈱ヤマネ産機 常務取締役

第51期県出向理事を務めさせていただく山根壮です。

1年間よろしくお願い申し上げます。所属は交流総務委員会です。交流事業として委員長・副委員長交流会の担当をさせていただきます。初めての県役員ですが、まずは自分自身が楽しんで積極的に交流をはかろうと思います。

今期のスローガン「一つに」の元、今期の事業にとってもワクワクしています。中央会生活の中でも県役員でしか体験できないことに、感謝の気持ちを忘れず精一杯取り組んでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願い申し上げます。



県出向理事

松原 知大

日本海冷凍魚㈱ 取締役

第51期県出向理事を拝命いたしました松原知大です。従来の中央会活動に加え、県の活動も増えていくことに不安を感じる的同时に、新たな出会いを楽しみに思っております。一つでも多くの事を吸収し、会員へ還元し中央会全体を一つに出来る一助となれるよう、精一杯活動して参ります。

第48期に入会させて頂き、まだ中央会の事も分からないことが多い中で、住会長よりこのような大役を仰せつかり大変光栄に思っております。覇道ではなく王道を行く住会長年度を、県役員としてしっかりとサポートしたいと考えておりますので、今年一年間何卒宜しくお願い致します。



県出向監事

下村 英一

山陰建設サービス㈱ 次長

第51期県出向監事を拝命いたしました下村英一と申します。第50期では県出向理事としてビジネス教育事業に携わり、会員の皆さまには大変ご協力いただきありがとうございました。今期は県出向監事という立場から事業を支え、『参加してよかった』『楽しかった』と思えるような事業を作っていきたいと思っています。徳田県会長の掲げたスローガン【一つに】のもと、東部・中部・西部という地区の垣根を超えて会員が一つになるように最善を尽くして頑張りますので、一年間どうぞよろしくお願い申し上げます。



直前県会長

足立 駿

㈲足立製綿所

第51期直前県会長を務めます足立駿です。昨年度は多くの関係者、OB会員の皆様を支えられ、充実した一年を過ごすことができました。心から感謝申し上げます。皆様のご協力があったからこそ、活動を円滑に進めることができました。今期は県事業として50周年事業も開催予定であり今まで以上に東部・中部・西部が一つとなり垣根を超えた団結が求められます。直前県会長としてしっかりとサポートしていく所存です。今後も引き続き、地域の発展に寄与し、皆様と共に成長していけるよう努めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

令和7年度 通常総会 『清新澆刺』から『英雄』へ



令和7年7月15日(火)、ANAクラウンプラザホテル米子 飛鳥東の間において、第51回となる通常総会が開催された。

第50期永井拓未会長の挨拶に続いて、新入会員である安田直也会員(米子信用金庫所属)へのバッジ授与が行われ、安田会員から当会への抱負が語られた。

議長には安達副会長が立候補し、全議事が全会員による「異議なし!」の声のもと可決された。

そして、当会の会長が第50期永井会長から第51期住真介会長へと会長バッジが授与され、50期から100期をつなぐ第一歩が踏み出された。

続いて特別功労賞の表彰へと移り、平成17年に入会し令和4年度に第48期会長を務めた高井賢一会員に長年の会への貢献をたたえ、感謝状並びに記念品が授与された。

会員表彰では精勤賞受賞者を代表して小原会員が、皆勤賞受賞者を代表して武良会員が記念品を受け取った。続く会員拡大表彰では第50期の1年間会員拡大に取り組んだ委員会から優秀委員会として総務委員会が、最優秀委員会としてビジネス経営委員会が受賞した。

さらに続く委員会表彰では、優秀賞として中央会発信委員会、最優秀委員会としてビジネス経営委員会が受賞し、中央会発信委員会の新井委員長、ビジネス経営委員会の田本委員長がこの1年間で受賞への熱い思いを語った。(記事:小原)



懇親会

通常総会、卒会式に続き懇親会が執り行われた。まず第51期住会長から「今期のスローガン『英雄』とは仲間を大切にし自己の責任を自覚し謙虚に自分の成長を求め続ける存在であり、それが青年経済団体の雄としての真の王道の在り方だと強く信じている。全てに対して同じ熱量・全身全霊で取り組む中にこそ限界を突破し成長する瞬間がある」と挨拶があった。続いて参議院議員の舞立様より「30年ぶりにデフレの闇をようやく抜け出せた。所得を増やすために今後も取り組んでいきたい」、鳥取県団体中央会の岩崎会長からのご挨拶では「皆さんの英知創造と行動力が強く求められている。起業家精神を発揮し、中小企業の発展と地域活性化にご助力いただきたい」とご挨拶をいただいた。続く当会OB会の福田OB会長より「先輩方から受け継いだものを続けるために皆さんの実力が発揮される時だと思う。自由な発想と大胆な行動で示してほしい。この場の全員が英雄となることを祈念している」とご挨拶があり、懇親会が開宴した。来賓11名、OB会員49名、新OB7名のご参加をいただいた当懇親会は盛況のもと、鳥取県西部総合事務所 荒田様の「業種や世代を超えた民間あつての地域活性化。引き続きよろしく申し上げます」とのご挨拶により締めくくられた。(記事:高田)



令和7年度 卒会式

通常総会に続き卒会式が行われ、高井賢一会員(平成16年度入会)、梅原雅明会員(平成27年度入会)、高見秀幸会員(平成30年度入会)、谷村裕也会員(平成30年度入会)、佐々木崇会員(令和元年度入会)、高岩雄一会員(令和元年度入会)、伊澤佑矢会員(令和2年度入会)の7名が卒会された。第50期永井会長より卒会証書と記念品、花束が贈呈され、卒会者を代表して高見会員から「在籍期間は皆様のおかげで大変楽しい時間を過ごすことができました。役をするごとに中央会の楽しさや仲間とのつながりを感じられ、これが醍醐味だと思っています。中央会は出席することが大事と聞いていましたが、私もそれを実感しています。ぜひ皆様には1回でも多く出席し、一言でも多く発言していただきたいと思います。」との挨拶を述べられた。

最後に卒会者より当会へ目録贈呈が行われ、卒会者を代表して梅原会員から永井会長へ目録が贈呈された。7名の卒会者には当会全体、当会会員も非常にお世話になりました。

改めましてご卒会をお祝いするとともにこれからのご活躍をお祈り申し上げます。

(記事: 小原)



懇親会



令和7年度鳥取県中小企業青年中央会 通常総会・記念式典・祝賀会 開催



令和7年7月28日、ANAクラウンプラザホテル米子において鳥取県中小企業青年中央会の令和7年度の通常総会が開催された。冒頭、第50期足立県会長より「承前啓後」をスローガンに掲げ、50年という歴史のある青年中央会の活動を次に繋げることを目的に活動をしてきた50期の振り返りが行われた。次に令和6年度事業報告並びに収支決算書、新役員指名承認の件、令和7年度事業計画並びに収支予算予算が審議され、いずれの議案も「異議なし」の掛け声のもと満場一致で承認された。最後に第51期徳田県会長より議案承認についての謝辞が伝えられ通常総会は閉会となった。

(記事: 皆川)

続いて同会場にて50周年記念式典が開催された。この度は来賓の方に加えて県青中に貢献された41期以降の県会長及び県副会長をお招きしての開催となった。冒頭の恒例となる鍵の引渡し式では第50期 足立県会長から第51期 徳田県会長に引渡され会長職のバトンが繋がれた。徳田会長挨拶では多くの来賓や県会長・県副会長経験者のご参会頂いたことに感謝を述べられ、また今年度のスローガン「一つに」と活動テーマ～変革をもたらす青年経済人～について活動する意気込み及び意義について熱意をもって語られた。団体中央会 岩崎会長より来賓代表して祝辞を頂き、内閣総理大臣 石破 茂様をはじめ50周年を迎えた当会に各方々より祝電を頂いた。

歴代会長紹介の時間ではこの10年間で41期から50期までの会長及び活動紹介を写真に収められた映像で振り返り時代の状況や会長のカラーなどが反映された事業で東・中・西が一つになって活動する姿が印象的であった。

その後、祝賀会に移り盾の贈呈式では団体中央会 岩崎会長より第50期 足立県会長及び各地区県副会長に贈呈されこの一年の活動を労われた。続いて乾杯のご発声を鳥取県議会議長 福田 俊史様より頂き約150名の参加者の乾杯の掛け声が賑やかに響き祝賀会がスタートした。

50周年記念特別公演としてジャズバンド【chang Project】によるスペシャルライブが開催された。メンバーに米子市出身者が在籍しており米子をテーマにした楽曲などが披露され会場を美しいメロディーで包み込み会場は大いに盛り上がった。

そして各地区の活動方針及び委員長紹介・51期の県役員が壇上で紹介され第51期を彩る会員たちがお披露目された。

そして盛況の中、米子市長 伊木 隆司様の中締めを今年度のスローガン「一つに」のご発声をもって閉会となった。

(記事: 渡邊)





第43回 全日本トライアスロン皆生大会

去る2025年7月20日、第43回全日本トライアスロン皆生大会が開催されました。

中央会からは、今年も「チームTSC」(山根会員、石田会員、谷村会員)が参戦し、最高気温36.3度の猛暑の中、チーム一丸となって見事完走！

また、年々会員もボランティアも減少する中、一人ひとりが何役もこなし、今年もボランティア部、マラソン部、AS部を運営しました。選手の皆さま、ボランティアの皆さま、お疲れさまでした！



完走お疲れさまでした！トライアスロン参加選手感想



山根 壮

(株)ヤマネ産機
常務取締役

スイム担当の山根です。去年に比べ練習がなかなかできず不安でしたが、いつもの「なんとかなる根性」で本番を迎えました。当日の海はとても穏やかで泳ぎやすかったのですが、やはりスタート時は蹴られたり叩かれたりで大変でした。横で泳いでいた方が急に平泳ぎをしだして…そのキックが一番痛かったです。なにはともあれ時間内にバトンを繋げられたことでとてもほっとしています。またこの度卒会された谷村さん、本当にお疲れ様でした。さすがです。応援してくださった皆様本当にありがとうございました。



石田 倫章

(有)ペットショップパウ
管理部

この度は、住会長を筆頭に、会員のみなさまにご声援いただき、ありがとうございました。
特に今年は、バイク担当の自分としては、トランジットであれだけ多くの会員に迎えてもらった事は過去経験がなく、驚きとともに感謝の念に堪えません。
また、落車事故に巻き込まれたものの、ほぼ怪我もバイクトラブルも無かったのは、住会長から頂いたお守りのおかげです。来年の会長も、何かいい感じのやつを是非……で、その来年は、チームTSCの現リーダーである山根県出向理事のご意向次第かなと。谷村OBが来年もその気になるかは不明なので、是非とも現役会員から立候補を期待しています！



谷村 祐也

美保テクノス(株)
営業部係長

無事完走しました1/3鉄人の谷村です。今年は痛めていた左足に不安を抱えながらの出場でした。暑さと足の痛みにも耐え、何度も心を折られながらもビールと焼き鳥を楽しみに、なんとか東山まで辿り着き、3人で手を取り合ってゴールできたことは感動でした。
来年は後進に道を譲りたいと思います。個人的に出場して欲しいと思う方(Y監事やN参与)はいますが、こればかりはご本人の意向もありますので……。その場のノリと勢いだけで出ることはお勧めしません。出場は計画的に！
最後に、猛暑の中ボランティア活動をしてながら声援を送っていただいた会員の皆様、本当にありがとうございました。



第43回 全日本トライアスロン皆生大会を終えて

実行委員長
安達 信彦

(株)平設計
設計課長



第43回全日本トライアスロン皆生大会のボランティア活動大変お疲れ様でした。今大会は最高気温が36℃を記録する過酷な大会となり、完走率もAタイプ(昨年と同コース)は75.6%(前年85%)、リレー 83.7%(前年85%)となり昨年より下がりました。猛暑対策として導入されたBタイプ(セミロングコース)も完走率66.6%と効果はいま一つでした。

スイムでは事故もあり、決して無事に大会を終えることが出来た訳ではありませんが、ご協力頂いたボランティアの皆さん、そして裏方として各所で頑張りをみせた当会会員の皆さんが無事に帰路に着くことが出来て何よりです。

今大会から共催へと立場が変わりましたが、なんとか大会を成立させることが出来たのはこれまでも同様に5月ごろから準備活動に時間を割いて頂いた多くの会員の尽力があつてこそです。

時代の変化によって今まで通りのやり方ではできないこと、カバーしきれないことも多くなってきましたが、しっかりと反省すべき点は反省し、次世代へバトンを繋ぎたいと思います。

最後になりますが、皆さま本当にありがとうございました。

各部長感想



ボランティア部
松田 順次

合同印刷(株)
取締役社長室室長

第43回全日本トライアスロン皆生大会でボランティア部長をさせていただきました松田です。大会当日は、猛暑の中での大会となりましたが、ボランティア部としては大きなトラブルもなく終えることができました。今年もかなりバタバタな状況になってしまいましたが、OB会員の方にも協力いただいたお陰でなんとか乗り切ることができました。ありがとうございました。中央会の会員数も減少している状況下で、ボランティア部としても反省点や改善点が多々あったと思います。来年に向けてしっかり改善していきたいと思っています。本当にありがとうございました。



マラソン部
山内 正樹

(有)サンユービルド
代表取締役

歴代名だたる方々が務められてきたマラソン部長、身の引き締まる思いで挑まさせていただきました。数年前より少数精鋭となったマラソン部ですが、ベテラン部員と若手部員全員が駆け回ってもらったことに感謝しかありません。「やるときはやる、楽しむところは楽しむ」という部の伝統に加え、利他的にも行動できる素晴らしいチームでした。おかげで我が息子の高校野球(最後の...)試合に立ち会うことができました。

完走されたチームTSCをはじめ選手の皆様、ボランティアスタッフ、運営スタッフの皆様、酷暑のなか本当にお疲れさまでした！



AS部
仲佐 大志

(株)あしがる
代表取締役

第43回全日本トライアスロン皆生大会にてAS部長として夢みなとターミナルASを担当させていただきました。この場所は前回で初めて担当させていただきましたが、前回の経験を活かし運営もより良くなったと感じました。しかしながら新たな問題点等も浮上しております。回を重ねる毎により良くなるよう努めて参ります。運営に関してはとても厳しい暑さの中ではありませんでしたが、大きな問題も無く無事終える事が出来ました。ご協力いただきました皆様本当にありがとうございました。

新入会員から見たトライアスロン



発信・地域の力委員会
皆川 勝彦

大樹生命保険(株) 米子営業部長

大会では高校生の送迎、AS・給水所運営に携わりました。あるボランティアの方が選手のゼッケンと選手名簿を確認して、名前を呼んで応援していたことが特に印象に残りました。今年初めてボランティアに参加したため、あまり力にはなれませんでした。来年はもっと力になれるように頑張りたいと思います。



総務委員会
仁宮 洋輔

(有)不動産情報マイホーム 売買部課長

今回、中央会の一員として初めて皆生トライアスロンに携わらせていただきました。私自身、何度もボランティアとして参加してきましたが今回の経験を経て見えていないところで支える方がこんなにたくさんいることを実感いたしました。今回、私はボランティア部の個人ボランティアさん担当として準備を進めてまいりましたが、作業量が多く大変だったのが素直な意見です。但し、一緒に準備を進めてきた中央会会員の皆様との一体感や達成感は今後忘れないと思います。選手の皆様が競技に全力で取り組めるようにサポートするのは簡単ではないですが、中央会の一員として参加したボランティアでしか得られない充実感があることがわかりました。

編集後記

住会長が舵取りを行う第51期が華々しいスタートをいたしました。スローガンである「英雄」とはほど遠い存在である私ですが、1年間担当委員会の委員長として経験を積み、少しでも英雄に近づけるように邁進して参りたいと思います。

ハンサム・雄飛の責任者として1年間皆様へ地域の魅力が詰まった内容を全身全霊で発信をいたしますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

(発信・地域の力委員会 委員長 川口 慎司)

〈新入会員〉

〈発信・地域の力委員会〉



やす だ なお や
安 田 直 也

米子信用金庫本町支店 次長
金融業
〒683-0815 米子市東倉吉町40
☎ 22-5111 ☎ 32-5905

R07.07(R07年度)入会
(推薦者) 伊澤 (佑) 安藤 (睦)

〈コメント〉この度入会致しました、米子信用金庫の安田と申します。会員の皆様と共に地域の発展に寄与できるよう熱意を持って活動して参ります！至らぬ点もあるかと思いますが、ご指導のほどよろしくお願い致します。